

議員 国民医療費が増大の一途をたどる中、ジェネリック(後発)医薬品の利用促進は被保険者の負担軽減につながる効果がある。今後啓発活動について伺う。

市民部長 パンフレット等で周知を図るとともに、医師会や薬剤師会と協力して効果的なPRに努めたい。

議員 足立区では短時間勤務や求職中のため子どもの保育を必要とする保護者を対象とした「小規模保育室」を開設した。本市でも多様な就労形態に対応した保育サービスを提供すべきだ。

市長 保育施設に持たせる機能については、三鷹駅前保育園で実施してきた様々なサービスの先行例を検証しながら、検討してみたい。

議員 「産後うつ」の早期発見のためには、新生児家庭に対する訪問事業を拡充する必要がある。所見を伺う。

市長 子育ての孤立防止や産後うつ対策が重要だと認識しており、具体的な取り組みの検討を進めている。

「FMからPREへ」 行財政改革で具体的展開を

公明党 緒方 一郎 議員



議員 行財政改革の方法論の一つであるファシリティマネジメント(FM)からパブリックリアルエステート(PRE)公的不動産)戦略への進化について伺う。

市長 PREを新たな行財政改革の計画策定方針の一つに掲げ、その具体的な取り組みの方向性を第4次基本計画等でまとめていく。

議員 三鷹将来構想検討チームが報告した人口構成の変化を踏まえた諸施策の展開と課題について伺う。

市長 特定目的の施設が他の用途に柔軟に対応する設計や、公共施設データベースの構築と公表のあり方などが重要になると考える。

議員 PREの制度設計として、①市民センター周辺地区整備事業については、整備を先送りした場合のリスクなど、現時点との比較において「今この時点でやるべき意味」を市民に丁寧

に広報すべきだ②ソフト面では、乳幼児医療費の所得制限を撤廃してほしい。

市長 ①PREとは現状の公共施設を総合的に管理・維持する責任と認識し、PRに努めたい②来年度に撤廃したいと考えている。

その他の質問 公衆浴場や公的施設等の浴場の使命と役割/子どもの傷害予防/グループウェアと事務研/職員の健康管理と勤怠管理/公明党の4つの署名について

国民健康保険・国民年金 基礎自治体の課題を問う

民主党 浦野 英樹 議員



議員 厚生労働省は現在市町村が運営している国民健康保険について、都道府県に移管させる方向性を示した。国保の広域化に際しては、先行して広域化した後期高齢者医療制度の教訓を踏まえて、保険料額の均一化などのメリットは生かすべきと考える。所見を伺う。

市長 国民皆保険制度を将来においても堅持するためには、国保の広域化が避けられない道であると考えている。保険料額の均一化を初め、保険料の賦課・徴収の課題、保険財政の課題など広域化を進めるに当たって解決すべき課題が多くあると認識している。今後も国保の適切な広域化に向けて発言していきたい。

議員 厚生労働省は現在市町村が運営している国民健康保険について、都道府県に移管させる方向性を示した。国保の広域化に際しては、先行して広域化した後期高齢者医療制度の教訓を踏まえて、保険料額の均一化などのメリットは生かすべきと考える。所見を伺う。

市長 国民皆保険制度を将来においても堅持するためには、国保の広域化が避けられない道であると考えている。保険料額の均一化を初め、保険料の賦課・徴収の課題、保険財政の課題など広域化を進めるに当たって解決すべき課題が多くあると認識している。今後も国保の適切な広域化に向けて発言していきたい。

10年後の三鷹市の まちのあり方を示せ

民主党 岩見 大二 議員



議員 本市には市民との協働の歴史があるため、「新しい公共」を推進する下地がある。新しい公共の推進に当たり、町会・自治会やNPO等の組織間の連携への市の関与の方針を聞く。

市長 地域の課題解決のプロセスの充実に向けて、条件整備をしていきたい。

議員 自転車レーンは比較的低コストで整備できるため、導入が可能と考えられる道路には積極的に整備を

推進すべきではないか。

都市整備部技監 かえで通りの自転車道に関するアンケート調査等の結果を慎重に検証し、指摘の点を含め、自転車走行空間の整備手法を検討していきたい。

議員 孤独死の問題が一層深刻化している実態が、最近の統計調査で改めて浮き彫りになった。一人暮らしの高齢者が安心して住めるまちにするため、地域における見守りの充実等に行政

明日の安全と成長のために 子ども・子育て支援の充実を

民主党 谷口 敏也 議員



議員 政府は、明日の安全と成長のために「子ども・子育て新システム」を検討している。新システムについて市長の所見を伺う。

市長 幼稚園・保育所の経過が最大限尊重され、子ども本位の建設的なシステムになるよう発言していく。

議員 行政は、子どもの育ちに必要な子育て支援策で切れ目のないサービスを提供し、それを保障しなければならぬ。保育所と学童保育所の保育時間の差などいわゆる「小1の壁」などの早急な解消が必要だ。

市長 保護者の意向や実態を把握し、必要な対策を検討している。新システムの動向を注視していきたい。

議員 新システムのこと

が力を発揮してほしい。

市長 市民課と関係部署との連携強化や、地域ケアネットワーク推進事業の全市展開等での対応を図りたい。

議員 増加するマンシヨンの建設を抑制し、バランスのとれたまちづくりを目指す。

議員 増加するマンシヨンのアンケート調査等を実施し、誘致活動を進めたい。

市長 金融機関・関係団体からの情報収集や、企業へのアンケート調査等を実施し、誘致活動を進めたい。

調布保谷線の騒音問題 市独自の対応を求める

日本共産党 森 徹 議員



議員 調布保谷線の調布・三鷹区間は2mの遮音壁を設置して騒音の環境基準をクリアするとしていたが、地域住民の要望で「二層式低騒音舗装」に変更して供用が開始された。二層式低騒音舗装の騒音低減効果について、予測数値を聞く。

市長 予測数値は昼間で61〜62dB(デシベル)、夜間では57〜58dBとなっている。

議員 調布保谷線計画時の当初の環境アセスでは、昼間53dB、夜間47dBと低い数値だった。問題はないのか。

都市整備部技監 二層式低騒音舗装による騒音予測数値は、現在使われている環境基準をクリアしている。

どの程度の予算が必要か。

市長 歳出で2億円以上と推計し、現在の市の財政状況では大変困難と考える。

議員 高齢者医療を社会全体で支える制度づくりが必要だ。高齢者の医療費無料化の可能性について伺う。

市長 医療保険制度は応分な負担を原則とし、無料化による経費負担は高額になるため大変困難と考える。

その他の質問 子どもの遊び場広場について

高齢者が住みよいまちへ 創意工夫せよ

日本共産党 大城 美幸 議員



議員 介護認定の申請件数が増加傾向だ。迅速な対応

健康福祉部長 今後、指摘